



備えは大丈夫？

火災から身を守る対策



空気が乾燥し風の強い日が多く、火災が発生しやすい季節です。
空気が乾燥していると火がつきやすいだけではなく、火のまわりも早くなるため、ちょっとした不注意が大火災につながることもあります。

火災から大事な命を守るため、火の取り扱いには注意しましょう。

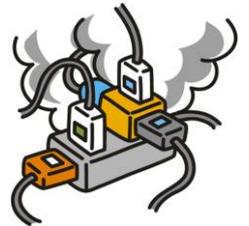


1 火災になりやすい原因

建物火災の原因は、「こんろ」「たばこ」「ストーブ」等の割合が多く、次に「配線器具」「電気機器」等が挙げられます。コンセント等の電気設備からの出火や、人がいない部屋からの出火の原因には、ゴキブリやネズミ、ペット等も関連していることがあります。そのため、建物内外の環境に注意しましょう。

2 火災が起きにくい環境づくりを心掛ける

家の中や周囲等は、あらかじめ火災が起きにくいような環境作りを心掛けましょう。ストーブの周りに物を置かない、ライターやマッチを子どもの手の届く場所に置かない、コンセントの掃除を心掛ける、寝具やエプロン、カーテン等は防災品にする、家の周りにもものを置かないといった対策が防火につながります。

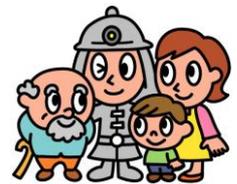


3 もしも、火災が起きたとき取るべき行動

火災が起きたときは、まずは大きな声で「火事だー！」と叫び、隣近所に知らせましょう。火がまだ横に広がっているうちは消火が可能です。消火器や水だけでなく、ぬれたシーツや毛布など手近なものを利用しましょう。火が背の高さを超えたら初期消火は困難です。無理せず早めに避難しましょう。



消防団員募集！ ～あなたの力を消防団に～



いすみ市消防団は「自分たちのまちは自分たちで守る」という使命感をもち地域防災のリーダーとして活動しています。消防団員は、自分の仕事を持ちながら火災や風水害・地震などの災害が発生したときに住民の生命・財産を守るために活動しています。

消防団に関する詳しい事は、いすみ市役所危機管理課消防安全班（☎62-2000）までお問い合わせください。



